



平成 25 年 5 月 7 日
内閣府宇宙戦略室

日カナダ官民宇宙合同会議第1回会合の開催結果について

2013年5月1日、オタワにおいて日カナダ官民宇宙合同会議第1回会合を開催しましたので御報告します。

本会合は、2012年3月に、ハーパー首相とカナダ宇宙庁(CSA)産業振興ミッションの訪日の機会に宇宙政策担当大臣、文部科学大臣、加貿易大臣との間で署名された「日加間の宇宙協力の促進のための覚書」に基づき行われたものです。

この覚書は、協力枠組みの構築、共同活動や共通関心事項の検討のための基盤の提供、情報や人材交流の促進により、両国間の宇宙の平和利用における協力を推進することを目的としています。

今会合の共同議長は、我が国からは内閣府宇宙戦略室の代表が務め、カナダ側からはカナダ宇宙庁(CSA)の代表が務めました。主な出席者としては、日本側からは内閣府宇宙戦略室、経済産業省、在カナダ日本国大使館、独立行政法人宇宙航空研究開発機構(JAXA)、日本航空宇宙工業会(SJAC)及び宇宙産業関連企業(三菱電機株式会社、三菱重工株式会社、株式会社IHI、株式会社IHI エアロスペース、株式会社日立製作所ディフェンスシステム、日本電気株式会社、富士通株式会社、住友商事株式会社、三菱商事株式会社)が、カナダ側からは、CSA、カナダ航空宇宙産業協会(AIAC)及び宇宙産業関連企業(ABB社、COM DEV社、iDirect社、Magellan社、MDA社、NEPTEC社、TELESAT社)が参加しました。

本会合において、日本側は、新たに策定された日本の宇宙基本計画を含む宇宙政策について説明を実施しました。カナダ側からは、CSAによるカナダの宇宙開発の状況、宇宙産業の現状について説明がありました。

さらに両国から、日加間の宇宙協力を推進するための提案がなされ、それぞれの提案における協力の推進に向けて協議を継続していくことで一致しました。また、本会合において、「日加間の宇宙協力の促進のための覚書」の下に、JAXAとCSAとの間の衛星を利用した災害監視協力に関する実施取決めに署名しました。

また、両国宇宙産業における協力の可能性について意見交換を行い、SJAC及びAIACが両国の宇宙産業を代表する団体として、今後とも双方のビジネス上の利益にかなう協力関係の構築に向け、協議を継続することで一致しました。

双方は、本会合を定期的実施していくことを確認しました。(了)

【問合せ先】

内閣府宇宙戦略室 國友、三好

電話 03-5114-1904, 1915

FAX 03-3505-5971

E-mail hirotohi.kunitomo@cao.go.jp

takanori.miyoshi@cao.go.jp